5

まち歩きを仕掛ける
真野のまち歩き②　～「地元学」をつくろう Part2～

日時：令和３年2月２３日（火･祝）　１０：００～１７：００
場所：真野公民館、真野学区内
受講生：９名
講師：龍谷大学政策学部教授　只友　景士 氏
協力：真野学区文化振興会会長　北居　明美 氏
　　他　１３名の真野学区の皆さん
　　滋賀大学教育学部教授　神部　純一 氏
　　龍谷大学只友ゼミ生６名
　　おおつびと倶楽部代表　桂　一朗 氏、徳野　有仁 氏、他１１名
　　真野公民館館長　川端　智之 氏

【講座内容】
〇講義：只友教授（理論学習②　「地元学」をつくろう Part2）
〇現地調査②：真野学区文化振興会会長 北居　明美 氏（真野学区のまち歩きー真野浜周辺ー）
〇グループワーク：気づきの整理、発表
〇閉講あいさつ：真野学区自治連合会会長 髙間　敏次 氏、大津市市議会議員 笠谷　洋佑 氏
　　大津市教育委員会事務局生涯学習課長 本郷　照彦
〇おおつびと倶楽部の紹介：桂代表　　取組：「寺子屋寄席」

【概　　要】
　龍谷大学只友先生の理論学習から、「まち歩き」や「人々の話し合い」を通して、まちづくりとしての意味と市民性を涵養しながら、まちとしての「地域力」の総合性を高める取り組みとなることが分かった。午後からは、今回も文化振興会北居会長の案内で、真野浜周辺を巡った。その後のグループワークでは、真野学区について知りたいという気持ちも高まり、次年度への機運も高まった。閉講のあいさつの後、受講生ＯＢから生まれた「おおつびと倶楽部」の紹介をして、取り組みの一つ『寺子屋寄席』を鑑賞して、今年度を締めくくった。

【受講生のことば】
　組織率の向上や無関心層の取込は地域共通の課題であり、政治課題でもあると思います。地域の問題に特化して言えば、多すぎる地域課題に対し、対応するスタッフが少なすぎることだと思います。スタッフが忙し過ぎるのだと思います。忙しい故に行事の見直しが必要なのだと思います。また、新旧住民の交流は難しいですね。特に神仏に関することについては。スクラップ＆ビルドを前提として、地域住民が一つになれる地域イベントが見つけられればいいと思います。
（池田　昌之 氏）

【当日の様子】

理論学習

まち歩き＆
グループワーク

あいさつ

寺子屋寄席